

海況・魚群速報(別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果)

平成20年8月7日
大分県農林水産研究センター
水産試験場

県水産試験場の調査船「豊洋」による別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果は、次のとおりである。

調査日： 8月4～7日

【海況】

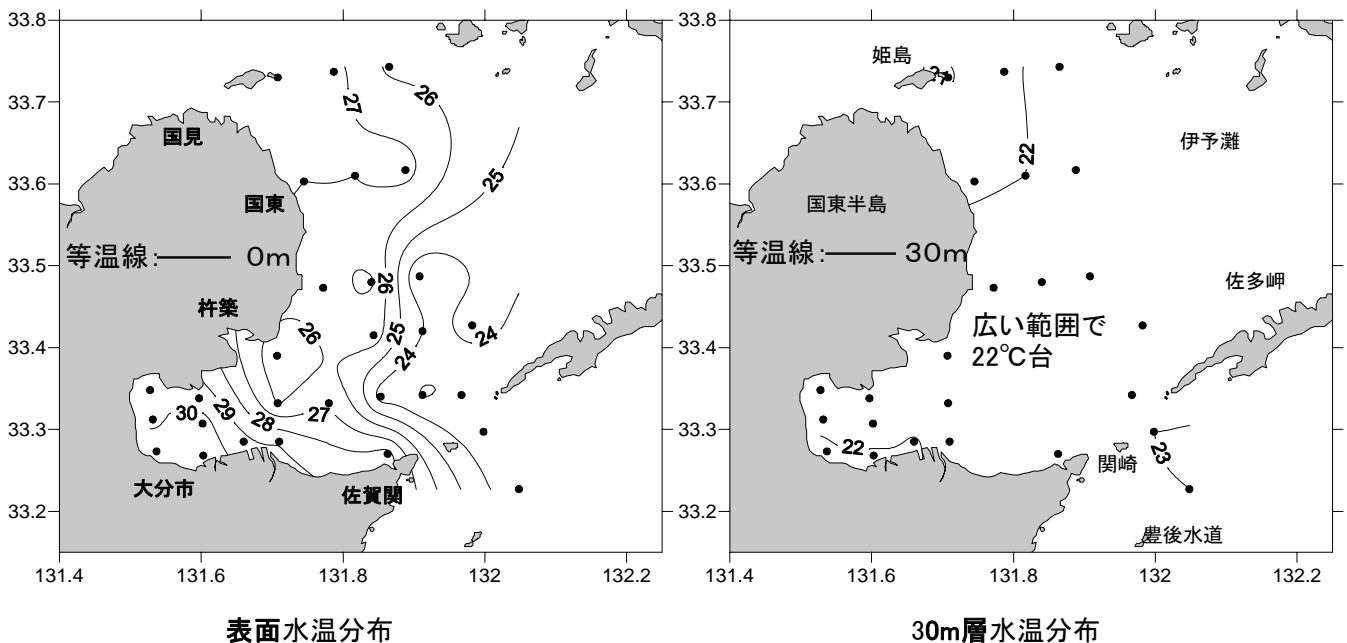
(別府湾の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
別府湾	表面	28.9	+ 7.3	+ 3.1	+ 2.5
	底層(-30m)	22.5	+ 3.7	+ 0.8	+ 1.6

(国東半島沖合の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
国東半島 沖合	表面	26.0	+ 5.1	+ 1.8	+ 1.4
	底層(-30m)	22.4	+ 3.7	+ 1.0	+ 1.3

(水温分布)



「海況概要」

気温が高かったこともあり、水温は平年より高め基調。

別府湾・国東半島沖合の表面水温は23～30°C台を示し、別府湾では前年より3.1°C高めで、平年より2.5°C高め。国東半島沖合では前年より1.8°C高めで、平年より1.4°C高めであった。

水深30m層は20～23°C台を示し、別府湾では前年より0.8°C高めで、平年並より1.6°C高め。国東半島沖合では前年より1.0°C高めで、平年より1.3°C高めであった。

また、別府湾奥部～南部では植物プランクトンの大量発生により透明度が非常に低かった。

(黒潮情報：漁業情報サービスセンター)

7月30日～7月31日の観測によると、九州東岸沖の黒潮内水温は29°Cを示し、前年同期並み～1°C低め。黒潮は都井岬、足摺岬沖ともに接岸しており、黒潮系の暖水が流入しやすい状態にある。

【魚群分布】

主な魚群の出現状況は、下表及び下図のとおりである。

s20-8号

昨年同期の調査時に比べて、魚群の出現数はやや多かった。

(魚群の出現状況)

日	時刻	魚群の状況					水温 °C	水深 m	魚の体長* cm
		位置	大きさ	出現個数	反応水深(m)*	密度			
8/4	13:57	st. 25付近	小	1	5-10	濃	30.0	48	4
8/4	14:00 ~	st. 25-別府	点、小	多数	0-B	濃	30.3	60-64	4
8/5	9:05	st. 31付近	小	1	5-10	濃	29.8	65	7
8/5	9:29	st. 30付近	小	1	5-25	濃	30.4	45	14
8/5	10:08 ~	st. 29付近	小	3	5-20	濃	29.9	37	7
8/5	11:02	st. 26-22	小	1	35-45	濃	30.2	47	4
8/5	14:11 ~	B20-SG3	小	2	10-20	濃	30.3	25	14
8/5	14:41 ~	SG3-st.17	小	1	50-60	濃	26.7	62	14
8/5	15:17 ~	st. 17-11	小	3	30-40	濃	25.8	43	7
8/5	16:06 ~	st. 11-10	小	5	5-15	濃	26.8	28	14
8/7	8:36	st. 2	中	多	35-B	中	27.5	45	4
8/7	10:08	st. 8	小	多	30-35	中	27.8	40	4
8/7	10:40 ~	st. 8-12付近	中、小	多	25-B	中	27.3	42	4
8/7	11:14	st. 13付近	小	3	60-B	淡	23.6	67	4
8/7	11:43	st. 14	中	1	20	中	23.4	60	7-28
8/7	11:55	st. 14-15	中	3	55-B	淡	23.8	78	4
8/7	13:15	st. 34付近	中、大	多	10-40	中	23.1	350	7-28
8/7	13:44 ~	st. 35付近	中	1	10-25	中	23.6	113	14-28

* 反応水深のうち、Bは底

* 魚群の構成主体となった魚の体長(計量魚探により算出された推定体長cm)

